



## 「県内中小企業のサポートによる地方創生を目指して」

商工労働水産部長 武盛 武士

このたび、4月1日付けで商工労働水産部長に就任しました武盛です。

県内企業及び関係団体の皆様には、かねてから本県産業の振興に多大な御尽力、御支援をいただき深く感謝申し上げます。

現在、グローバル化の急速な進展、国内における本格的な人口減少や少子高齢化の進行など、時代の大きな変革期の中にあります。

このような状況の中、国は、昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を成立させ、「地方創生」という地方の活性化に本格的に取り組む方針が示されたところであります。県といたしましても、国が地方創生の基本方針で掲げております「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」という基本方針の実現に向け、取り組んでまいりたいと考えています。

これまで本県におきましては、「かごしま将来ビジョン」において、「新時代に対応した戦略的な産業おこし」を掲げ、また、平成23年度からは、同ビジョンの分野別計画である「かごしま製造業振興方針」に基づき、次世代の基幹産業となる「自動車・電子・食品」の重点3分野及び今後成長が期待される「環境・新エネルギー産業」や「健康・医療産業」などの分野を対象に、製造業振興に係る各種施策を積極的に展開しているところであります。

具体的には、上記の分野を対象として、創業や新分野への進出、規模拡大に対し、経営計画の策定、研究開発、設備投資等を一貫して支援する「中小製造業創業・新分野進出等支援事業」、新技術・新製品の研究開発の取組みを支援する「重点業種研究開発支援事業」や「製造業新分野参入支援特別対策事業」、食品関連産業振興プロジェクトとして、食品の安全性や衛生管理等の認証取得に向けた取組みを支援する「安心・安全な食の認証取得促進事業」やマーケットニーズに対応した付加価値の高い商品づくりに向けた取組みを支援する

「かごしま「食」付加価値向上対策事業」などに取組むこととしております。

このような中、工業技術センターは、県内企業の「技術的拠りどころ」として、本県産業の技術ニーズを踏まえた研究開発を行うとともに、技術指導・相談、依頼試験・分析、設備機器使用等の技術支援を行っています。

研究開発は、地域資源の高度利用、新素材・新材料開発、生産・加工システム、バイオ・食品、環境・生活・デザイン、電子・情報の6分野において、「未来を拓くシラス資源の総合開発」、「動的3次元可視化技術を用いた押し出し加工の高度化」など14テーマを実施するほか、新技術の開発をめざす技術創出（シーズ）研究として「三番蜜を原料とした新規製糖技術の開発」など6テーマ、企業ニーズに対応した技術高度化（ニーズ）研究として「スギ心去り平角材の接合性能に関する研究」など4テーマを実施しております。ほかにも、九州・山口各県工業系公設試連携促進事業や公募提案型受託研究などにも取り組んでおります。

また、技術相談・指導は年間9,000件以上、依頼試験・分析は年間2,300件以上行っており、県内企業等の問い合わせ等に迅速に対応しているほか、手引きによる技術指導・学生指導など技術移転や人材育成にも努めています。

また、本県の科学技術振興指針に基づいて、工業技術センターと農業開発総合センターや森林技術総合センター、水産技術開発センターが情報交換を行いながら、相互に連携できる体制を構築しています。特に今年度、新たに開設された大隅加工技術研究センターとは、食品分野での連携に向けた準備を進めているところであります。

皆様におかれましては、新事業の創出や新製品の開発に向けて工業技術センターを積極的に活用していただき、本県地域経済の活性化につなげていただきたいと考えております。